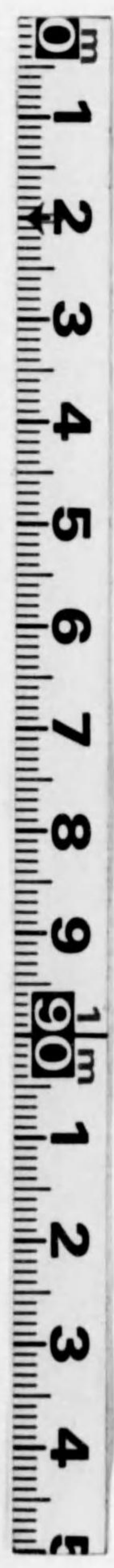


特276  
556

# 慶州

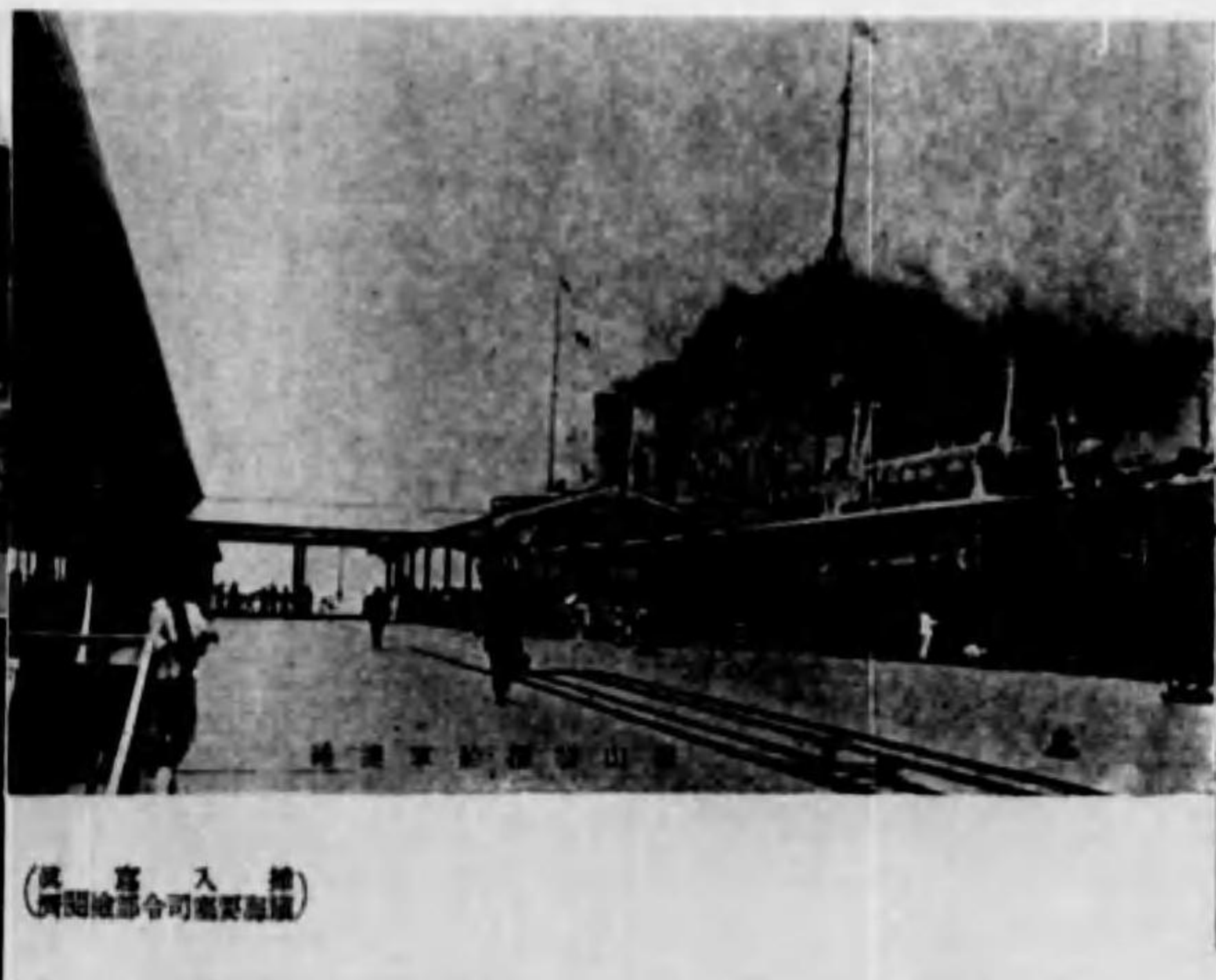
山 大 師 殿 馬 山  
關 東 水 道 智 異 山

局道鐵府督總鮮朝



# 始





(攝入者) 廣安縣司令部



釜山附近畧圖



慶州及附近略圖

例		凡	
●	古王	▲	山
○	寺	○	湖
—	道	—	河
—	鐵路	—	川
—	院	—	路
—	院	—	線
—	院	—	色



西岳を中心として其の附近にあるもの

金屋信墓 慶州縣から西へ五百米更に畦畔を西北に二軒松花山麓を上るに周囲に十二支神像を彫刻した護石を繞らして比較的完全に保存された墓がある。掛殿共  
に當時の代表的墳墓と謂はれ、新羅中興の名臣金屋信の墓である。金氏は武烈、文武の二王を輔け百濟高句麗を亡ぼし半島統一の勲業を成した功臣である。  
武烈王陵 西岳縣の西北約四百米大邱街道に沿つて老松の植樹中に在るものが即ち半島統一の勲業を完成した新羅中興の英主第二十九代武烈王の陵である。  
陵墓は周圍約百五米文武王元年の築造で入口右側の龜趺は陵墓に對する碑石の墓で今は碑身を失ひ六龍寶珠を捧ぐる狀を彫刻せる笠が龜趺の上に置かれてある。  
の取材彫刻の巧拙は千年の風雨に曝されて尙情趣神に通じるものがあり代表的逸品として專門家を三嘆せしむるものがある。  
西岳書院 武烈王陵の東北方にあり、新羅三賢たる金屋信・薛聰及崔致遠を合祀し書院として子弟の教養(農機)を行つた處である、尙附近に眞興・眞智・文聖・  
憲安王の陵及永敬寺址があり此のあたり一帯の山麓は古墳群に覆はれてゐる。

佛國寺を中心として其の附近にあるもの

方型墳 佛國寺驛直前の街路を距て、民家に圍まれて居る方型粗石墳で南面して入口があり周圍に十二支神像を彫刻せる護石を廻らし新羅時代遺蹟中唯一の異型  
墳として面白い。  
掛殿 佛國寺驛から蔚山街道を南に三軒左折して更に一軒行くに北寄の松林中に掛殿がある。口碑に新羅三十代文武王の陵と傳へてゐる。北に小山を頂ひ陵の  
基を護石を以て圍み武具を著けた十二支神像を彫刻してある。又陵の前面廣場には石額二對・文武石人石華表各一對あり新羅陵墓にして其の形體を保つてゐる代  
表的のものである。殊に石獸石人の手法が最も勝れ雄渾遠麗の氣漲り時代作品中の白眉と謂はれてゐる。  
途中蔚山街道の右側に傳説の池影池がある。  
佛國寺 佛國寺驛の北方三軒半吐含山の中腹にある。今より千五百餘年前我道云ふ人によつて開闢せられ後新羅第二十三代法興王の時重創したが烏有に歸し第  
三十五代景德王の世國宰金大城が更に重修し多寶釋迦の二塔を建て、石壇を築き奇巧を極めた石階を設け東を青雲、白雲橋、西を七寶蓮華橋と呼び無説殿を中心  
に樓閣伽藍五十有餘が列び建ち一大偉觀を呈してゐたが、李朝時代に至り兵火の災害に逢ひ木造建築物の全部を灰燼に化し去つた、現存の木造物は其の後建築さ  
れたもの一部であるが木石混用配置の妙麗さは遺物中の隨一と謂はれ四邊の山水も亦幽雅である。爲觀殿内に在る銅造の身佛二體は姿勢雄偉面相端麗にして大  
雄殿裏に在る舍利石塔と共に當代の代表作品と謂はれてゐる。  
佛國寺へは佛國寺驛から乗合自動車の便があり慶州を訪ふ人の是非足を運ばねばならぬ所である。  
石窟庵 佛國寺より急坂三軒を登り吐含山の頂上を越えたる三注洋たる日本海を望み間も無く石窟庵に達する。  
金大城が佛國寺の重修と共に畢生の力を盡して創建したもので山腹に穴を穿ち中央に丈六の釋迦如來坐像を安置し入口左右の石壁には金剛神、仁王及四天皇の像  
を、内部には四菩薩十大弟子九面觀音の佛像を二十七枚の花崗岩に半肉彫りし周壁上方に十個の佛龕があり、各々小菩薩が安置されてゐる。此等の彫刻は何れ  
も非凡の傑作であつて新羅黃金時代の代表的優秀な遺品である。尙拜觀料として五錢を要する。

古蹟遊覽案内

交通 1 釜山方面から 釜山、慶州、大邱間は三角形を描く一大環狀線であるから、内地京城方面何れからするも順路的に慶州探訪が出来る。先づ釜山方面からは、東東海雲臺の  
温泉や海水浴場等を経て次々に展げて行く南日本海岸の風光に接しつゝ、列車は約四時間半で古郡慶州に着き古蹟探訪の上再び列車で大邱に出るのである。  
2 京城方面から 前項の道路を執るのが一番都合である。  
3 運賃 釜山、慶州間 百七十七軒 二等 三・二八 三等 一・八二  
大邱、慶州間 六十九軒 二等 一・九四 三等 一・〇七

視察順序

古蹟は今の慶州邑内を中心として遠きは二十四軒の外にまでも散在して居るが探訪道路も完備し、遊覽自動車の便もあるから比較的容易に短時間  
で視察する事が出来る。

- 一、中部巡り 慶州驛(八〇〇米) 博物館慶州分館(二軒) 芬皇寺石塔(三〇〇米) 鳳鳴池(五〇〇米) 石水窟(四〇〇米) 瞻星臺(三〇〇米)  
鶴林(一軒) 五陵(二軒) 鮑石亭(四軒) 佛窟窟  
〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩五時間 自動車一時間四十分 賃金 四人迄 壹臺 二圓五十錢以上 一人を増す毎に五十錢増
  - 二、南部巡り 慶州驛(三軒) 武烈王陵(三軒) 慶州驛歸窟  
〔所要時間〕 見物所要時間を含み徒歩一時間 自動車三十分 賃金 同 一圓二十錢以上 一人を増す毎に二十錢増  
三、東部巡り 慶州驛(三軒七〇〇米) 四面石佛(四〇〇米) 栢栗寺(一軒二〇〇米) 鳳岩(四軒) 慶州驛歸窟  
〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩四時間 自動車一時間 賃金 四人迄 壹臺 一圓二十錢以上 一人を増す毎に二十錢増
  - 慶州驛邑内間 乗合一人 壹圓 (旅行の場合に限る)  
慶州佛國寺間 賃切 一臺 二圓五十錢  
佛國寺附近遊覽區 佛國寺驛(三軒半) 佛國寺(三軒、徒歩) 石窟庵(三軒、徒歩) 佛國寺(三軒半) 佛國寺驛(三軒半) 掛殿(三軒半) 佛國寺驛  
〔所要時間〕 各地見物時間を含み徒歩四時間半 自動車約二時間  
佛國寺驛佛國寺間 乗合片道 一人 三十錢  
〔自動車賃〕 佛國寺驛掛殿間 (三人迄壹臺) 一圓五十錢 (以上一人を増す毎に五十錢増)
- 旅館と料金
- 慶州 (内地式) 柴田・朝日・松屋の各旅館 (二泊二食付)
  - (朝鮮式) 安東・慶東・大邱・月城・東亞の各旅館
  - 宿泊料 (内地式) 一圓五十錢以上四圓五十錢迄
  - (朝鮮式) 八十錢以上一圓五十錢迄
  - 佛國寺 (内地式) 佛國寺旅館 宿泊料 二圓五十錢以上八圓迄
  - (朝鮮式) 各費・金城旅館 宿泊料五圓以上壹圓貳拾錢迄

釜山

釜山と船車連絡

朝鮮東南端の主要貿易港である釜山は煙波三十哩を隔て、豊岐對馬と相對し、朝鮮海峡を越えて百二十哩の彼方下關との間には朝夕二回の關釜連絡船が定期運航し、鮮滿鐵道と連絡して歐亞大陸に通ずる大支關たる樞要の地位を占め、尙北九州商船會社の博多行定期便も毎日一往復運航し、内地との交通は一層至便となつてゐる。

關釜連絡船の横付になる棧橋は僅か數十歩の距離で列車と接続し、旅客待合所・出札所・手荷物取扱所・貨物取扱所・電信取扱所・食堂・ビューロー案内所等の連絡設備は遺憾なく整つてゐる。棧橋から土産品店の並んだ上屋を通り抜ける釜山本驛は鐵道會館(ホテル)で二階は鐵道事務所となつてゐる。

釜山に上陸して第一に印象づけられるのは市街が純然たる内地風であることであつて、全く朝鮮の情趣を味へぬ程内地化してゐる。釜山府は草葉・釜山鎮の市街を包含し瀾の北東より西南にかけて展開してゐる。府の背後には太白山脈の餘勢である天馬・長嶺・九德・高遠見の諸峰が屏風の如く圍繞して朝風を防ぐ爲に氣候は溫和で東京地方と殆んど變らない。現在全人口十六萬三千餘人、内地人五萬一千餘人、并然たる街衢には官衙・公署・會社等軒を並べ益々股賑を擡つて居る。

釜山の貿易

釜山港に於ける通商貿易は遠く四百七十餘年前對馬島守宗氏修交の詔を結び日韓通商を約したに始つてゐる。當時は別段見るべきものなく單に對馬との交易に過ぎなかつたが、明治九年貿易港として開港以來は海陸諸般の施設漸進的に整備の域に進み、今や貿易額も二億四千萬圓を突破する盛況である。輸移出品の主なる物は米・鮮鹽干魚・大豆・海苔・陶器等、輸入品としては葉草・鹽・小麦粉・生果・綿織絲・肥料・機械類・木材等で、産業の發展に伴ひ益々繁盛を呈すべき状態にある。尙市内には醸造業を始めし精米・製鹽・鑄造・蒲葦・水産肥料・造船等の工場が市内に相當發達し、近代的大規模の紡績、製陶器製造會社の如きは朝鮮に於ても有数の大工場となつてゐる。

戸口	朝鮮人	内地人	外人	計
釜山府	二四、五〇五	一、二、六九九	六三	三、七、二六七
釜山鎮	一、一〇、二七五	五三、三三八	二〇一	一、六三、八一四
官公署其他	慶尙南道廳・釜山府廳・釜山稅關・無線電信局・釜山地方法院・水産試驗所・釜山憲兵分隊・支那領事館・物産陳列場・釜山商工會議所・公會堂・高等女學校・中學校・朝鮮銀行支店・朝鮮殖産銀行支店・朝鮮貯蓄銀行支店・釜山商業銀行・慶南銀行・釜山日報社・朝鮮時報社・釜山水産株式會社・朝鮮紡績會社・日本硬質陶器會社・大阪商船會社支店・朝鮮汽船會社・朝鮮郵船會社支店・東洋拓殖會社支店・移出牛檢疫所・癩患者療養所・牛痘血清所	大阪商船會社支店・朝鮮汽船會社・朝鮮郵船會社支店・東洋拓殖會社支店・釜山元山線・釜山博多線・朝鮮長崎大連線・釜山濟州島線・釜山麗水木浦線・釜山統營線・釜山方魚津線・釜山浦項線	市內 貨切料金 一時間以内 三圓 半日(五時間以内) 十五圓 一日(十時間以内) 三十圓	府内は釜山驛前を境とし二區に分たれて居る、釜山驛前から東萊温泉迄は五區である。

釜山 (全部茶代廃止)  
 鳴戸旅館(駅前) 岡本旅館(駅前) 荒井旅館(埋立新町) 花屋旅館(駅前) 釜山ホテル(辨天町) 松島ホテル(松島)  
 前泊料 一泊二食 二圓から七圓まで 一泊一食 一圓五十錢から五圓五十錢まで 表食料 一圓から二圓五十錢まで  
 釜山 釜山鐵道會館(鐵道局直轄) 食料 朝食 一圓五十錢 夜食 二圓 夕食 二圓五十錢 公會堂食堂 和洋食各一品料理を調進す  
 日本料理 美都巴・うろこ・加茂川(以上南濱町) 松の屋(松島) 西洋料理 カド(幸町) 好樂軒(本町) 精樂軒(大連町)  
 市内 駅前大連町・龍頭山・日韓市場・長手通・物産陳列館・驛 所要時間 徒歩約二時間 自動車約一時間 費用 自動車一臺 二圓五十錢 電車(驛市場間) 五錢

**市内名勝地**

龍頭山 市街の中央に聳ゆる一丘で、松樹鬱蒼と茂り府の公園地となつて居る。春は緑の樹間に霞む櫻花の眺めが佳く、丘の上に祀つてある龍頭山神社は釜山の氏神社として又朝鮮最古の神社として、内鮮人の崇敬厚い御社となつて居る。  
 大正公園 市の西部土城町にある。園内には各種の樹木を植ゑ、築山も設けられて府民散策の地となつて居る。  
 昭和公園 釜山鎮驛を距る西南三百米位の處にある。府民遊園の地で園内に津江兵庫の碑がある。  
 水晶園 釜山鎮驛の西方二軒餘の水晶山腹にある。園内には兒童遊園・茶亭・ベビィゴルフ・テニスコート・野外劇場等の設備をなし、梅に、櫻に、紅葉に四季の植樹を配し府民散策の地となつて居る。

松島 釜山市街の南方約一軒岩南半島の一部に灣入せる海岸を俗に松島と呼んで居る。灣内波靜かで白砂相連り潮水淺く夏季海水浴場として至極恰好の地である。  
 釜山鎮城址 釜山鎮驛を距る北方三百米位の處にある。文祿慶長の役小西行長が船を牛岩洞に繋ぎ本城を陥れ守備隊を捕虜にした云ふところ、後行長が之を日本式に改築したものであると傳へられて居る。今城址を遺し當時を追憶するに充分である。  
 釜山鎮 往時は半島東南端の要嶺で西南一帯は山嶽の麓に東南は廣闊なる埋立地を間に釜山灣に臨んで居る。現在釜山府の影は北方に延びて其の一部をなし市内電車も此處から東萊まで延び東海南部線は此の地より分岐東萊邑内・海雲臺を通じて蔚山に結び交通上重要な位置にある。驛附近には朝鮮紡績會社・各種製造場・日榮ゴム・釜山織物等の工場敷出し、また此處の移出牛検査所を經由し内地に移出せらるる活牛は四十萬頭の多きに達して居る。  
 絶影島(牧の島) 市街を指目する間にあつて其對岸一帯は釜山の工業地域として發展し日本硬質陶器、朝鮮製糖、田中造船所等の大小の工場が櫛比して居る。市街の影はこれに近著しく發達して来たので兩地間には東洋一を誇る跳開式渡津橋(釜山大橋)が架せられ、市街電車を通じ交通は至つて便利となつて居る。

**郊外名勝地**

東萊海雲臺 釜山から北へ向つてひし走り湯の花香る東萊海雲臺兩温泉の名は餘りにも有名であるが、これを圍む附近の風光も名勝蹟の數々は遊覽に適し美に朝鮮八勝の一に推賞された。  
 東萊温泉 新羅時代から既に知られて居る温泉場で今日朝鮮で温泉云へば先づ東萊に指を屈する。東萊は釜山を距る北約一二軒、附近には海雲臺・梵魚寺・通度寺等の名所舊蹟もあつて湯治場の無聊を感じる様なことはない。交通は非常に便利で釜山驛から汽車で東萊驛に下車し乗合自動車により行く外釜山からは絶えず電車が往來し一時間毎には乗合自動車の便もある。背後に釜山山脈の奇巒を負ひ、前に東萊川を控へた立派な湯町で行樂的に發展し、宏壯な旅館・料亭が櫛比し、今では釜山を通過する旅客の必ず旅塵を洗ふ處となつて居る。泉質は弱鹽類泉で無臭透明特に胃腸神經痛人病等に効能がある。  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇

海雲臺温泉 水管附近から車窓に映るものは嵯峨たる山々、白砂青松の海岸、岩に砕くる大波小波、涯しもなき青海原、かくして其の眺めよき處に海雲臺驛がある。海雲臺温泉は豊富なる温泉の湧出によつて温泉プールを開設し、和洋式旅館の設備も完備し、戦近遊樂地を兼ねた温泉場として、家族伴れの保養客に喜ばれて居る。泉質は鹽類泉で多量のラジウムを含有し神經衰弱・婦人病・消化器病・皮膚病等に特効がある。  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇

梵魚寺 東萊温泉の北約四軒釜山の中腹、新羅の遺蹟の中に一大伽藍の礎を列ねて居るのが蔚山街道から目につく、これが梵魚寺である。新羅の名僧元曉の開基に係る南鮮三大名刹の一で堂宇寺房數十、僧侶が二百人も居る云ふ。境内は松樹鬱蒼、幽邃の趣をなして居る。  
 通度寺 京釜線の勿基驛から釜山驛からも共に通度寺行の自動車がある。寺は南鮮で海印寺と對立する巨刹で其境域の廣大さは驚くばかり巍然たる靈鷲山の麓、老樹蒼鬱たる間に殿堂三十五三十二の寺庵が點在して居る。其創建は千二百八十餘年前新羅善德王時代慈藏律師の創建に屬し其後屢火災に遭つて居るが、今尚昔の規模を遺して觀るべきものが多く、佛の本宗を謂つて有名な釋迦の舍利塔がある。  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇  
 釜山 釜山鎮驛・釜山・驛の家 宿泊料 四・五〇 三・五〇 三・〇〇

**大邱**

大邱は慶尙北道廳の所在地で、京城以南に於て釜山に亞ぐ大都市である。一島二十二部の政治及産業の中樞地として又商工業の盛んな點に於て西鮮の平壤と相對峙し市街の股版交通機關の整備等大都市として恥しからぬ設備を有して居る。  
 附近は京釜鐵道の開通以來一層繁盛を來し、地方への道路も良く修築せられて自動車網の輻軸をなし道路の完備せること全鮮一の稱がある。尙東海中部線は慶州

を遷て浦項・蔚山に通じ沿道の農産物日本海の魚類は豊富に搬入せられ、今日では此地の經濟圏は慶北全部及慶南の東半部、悉く其勢力下にあり云ふも過言でない。又大邱附近は地味豊沃で穀類・蔬菜の産出を以て聞え、内地人の移住者多きにつれ農産界は近來著しき發展を來し各所には果樹・煙草・莞草等を栽培する農園も築出し、殊に苹果に至つては名聲赫々たるもので内地は勿論遠く海外まで輸出し好評を博してゐる。市内の朝鮮製絲・大邱製絲・片倉組製絲なごの大工場は煙突から盛んに煙を吐いてゐる。

此處の西門、東門の兩市場は有名なもので殊に毎年十二月に開市せられる藥令市は藥材を主要取引物資とし、其取引高七十萬圓殆んご十箇月間を通じて開市せられ本道内は勿論遠く全鮮各地より参集するものは幾萬に上り開市日には白衣を以て肩摩擊の盛況を呈する。

大邱市場日 西門市場 毎月除曆二・七の日 東門市場 毎月除曆四・九の日 藥令大市 毎年除十二月(一箇月間)

戸口 内地人 朝鮮人 其他 計

官公署其他 慶尙北道廳・府廳・覆審法院・地方法院・歩兵第八十聯隊・專賣支局・原蠶種製造所・穀物検査所・商品陳列所・醫學專門學校・師範學校・中學校・農學校・商業學校・朝鮮銀行支店・朝鮮殖産銀行支店・大邱銀行・東洋拓殖支店・大邱商工會議所・公會堂・朝鮮民報社・大邱日報社

交通 自動車 一時間 三圓 市内タクシー 一人五十錢 府營バス 市内六錢均一 往復十錢 三笠(寺町) 白石(村上市町) 清乃家(東本町) 菊萬(田町) 魚竹(東條町) 水戸家(村上市町) いけす(東本町) 公會堂食堂・樂天食堂・白鶴食堂 朝鮮食堂(二階) 赤玉食堂 唯麗旅館(譯より三〇〇米) 花屋旅館(譯より三〇〇米) 三綱旅館(譯より半軒) 立花屋旅館(譯より半軒) 田中旅館(譯より四〇〇米) ツタ屋旅館(譯より三〇〇米)

宿泊料 二圓より七圓まで 食料料 八十錢より三圓まで

### 市内名勝地

遊覽順序 譯と商品陳列所より元町→遠城公園→西門市場→市場町本町三丁目→東門市場→南城町→費用 自動車(一時間)二圓五十錢 人力車 一圓五十錢 所要時間 徒歩 四時間 人力車 二時間半

遠城公園 府内西方に在る歪狀の丘阜を利用した公園で新羅時代に於ける達弗城の遺跡である。園内には天照皇大神を奉祀せる大邱神社・望京樓・觀風樓等があつて市内を一眸に收むる眺望絶佳の地である。

頼慶館 府内上町にあつて大正十四年大正天皇御即位記念として慶尙北道居住朝鮮人の寄附設立に係るものである。

刀水園 園内清泉が湧き築山の彼方には詠歸亭と呼ぶ物寂びた建物等があつて夏は釣魚、秋は觀月のため杖を曳く人が多い。

### 郊外名勝地

海印寺及其の溪谷 慶南の名峰伽耶山の南麓海東第一道場海印寺を中心とする淨域は、山嶽美・溪谷美・森林美・伽藍美の極致を以つて曩に朝鮮八勝に入選し朝鮮

が持つ特有の寺院美と溪谷美の代表的のものとなつた。

大邱より七五・六軒、坦々砥の如き直線路を走る。約二時間、蕪源里で車を捨て此處から山門迄凡そ四軒の参道は伽耶川の溪流に沿ひ、山また山を巡つて行く寺の境域は伽耶山連峰に圍繞せらるる山水秀麗の地で殿閣堂塔また輪奐の美を極めてゐる。その創建は新羅哀莊王の二年(千百餘年前)僧願應により開基せられ、其の後重建さるる。こゝに六度現在の堂宇は僅かに大寂光殿の外十五、六に過ぎないが山内に極樂殿・藥水庵等十餘の屬庵を置き現在法燈を守る僧徒の數三百餘に上り實に南鮮三大寺の一となつてゐる。名高い大藏經の刊本は寂光殿の後に建てある大經閣に收められ其數八萬一千二百五十八枚に及び高麗高宗王の時に版刻されたものと言ひ傳へられてゐる。

交通 大邱驛・蕪源里間 約七五軒(三時間) 定期乗合自動車 大邱・高靈間一日數回往復 高靈・蕪源里間一日二回往復 賃金 乗合(一人片道) 二圓二六錢 貸切(六人乗片道) 一四圓 貸切(日歸往復) 二二圓 貸切(泊往復) 二八圓 尙海印寺山門前には内鮮兩儀式の客室を有する紅海旅館がある。收容人員百名。

### 鎮海

明治三十五年韓國政府が馬山を開港してから、露國は鎮海の天然要害たるに着目し此處に軍港設備を施し露國東洋艦隊の根據地として居つたが日本海軍の大捷以來一躍世間に知られ露來海軍の要港として今日に及んでゐる。市街は三方龜々長蛇の如き諸峰を以て圍繞せられ、前方は鎮海灣の紺碧を控へた天然の景勝要害の地で征矢川を中央に挟み、北より東南に向つて展開したる旭日型の區劃井然たる都市をなしてゐる。

戸口 内地人 朝鮮人 其他 計

官公署其他 鎮海要港部・憲兵分隊・島事務所・鎮海防備隊・鎮海灣要塞司令部・高等女學校・朝鮮總督府水産試驗場・通信局海員養成所

交通 定期航路 自行岩灣(鎮海港) 釜山行 二回出航 二等 一圓〇五錢 三等 七十七錢 一回出航 二等 七圓二十錢 三等 四圓八十錢 自寶藤灣 馬山行 毎日午前七時から午後十時迄九往復 片道二十五錢 特等 一圓五十錢 並等 八十錢 其餘市内賃切 片道 八十錢

定期自動車路及料金 譯前寶藤灣間 十錢 譯前寶藤灣間 十五錢 譯前寶藤灣間 四十錢 其の他市内賃切 片道 八十錢 遊覽順序 譯前鎮海神社→日本海軍記念塔→濱之浦→千代ヶ濱→櫻の馬場→要港部→防備隊→徳丸觀音→羽衣の松→譯 所要時間 徒歩 約四時間 自動車 約二時間 人力車 約二時間半 費用 自動車 五圓 人力車 一圓五十錢

### 市内名勝地

櫻の馬場 百樹の中央に櫻樹萬餘、約十軒の間に綠蔭を待機した遊歩場、櫻花爛漫の後には恰も霞の如き花のトクトロを現出し譯内屈指の櫻の名所となつて

馬山港は鎮海灣から灣入した一灣の西岸で舞鶴山下の傾斜面に據て新舊の市街を作り、空氣の清淨、氣候の溫和並に風光の明媚を以て朝鮮中第一の健康地と稱へられてゐる。明治四十四年以來要港地帯として開港開港後の馬山貿易は頗る衰退し内地の取引は殆んどない。然し近海漁業のみは依然盛況を呈し統營を経て此地に集り更に鐵道便により鮮滿の各地に輸送せらるゝもの相當額に上つてゐる。尙此地は水質と氣候の良好なるが爲に釀造業には最も適應し清酒醬油の如きは品質の優良を以て自他共に全鮮第一を誇つてゐる。

### 馬山

馬山港は鎮海灣から灣入した一灣の西岸で舞鶴山下の傾斜面に據て新舊の市街を作り、空氣の清淨、氣候の溫和並に風光の明媚を以て朝鮮中第一の健康地と稱へられてゐる。明治四十四年以來要港地帯として開港開港後の馬山貿易は頗る衰退し内地の取引は殆んどない。然し近海漁業のみは依然盛況を呈し統營を経て此地に集り更に鐵道便により鮮滿の各地に輸送せらるゝもの相當額に上つてゐる。尙此地は水質と氣候の良好なるが爲に釀造業には最も適應し清酒醬油の如きは品質の優良を以て自他共に全鮮第一を誇つてゐる。

### 郊外名勝地

晉州城 晉州驛より約一杆の距離にある。南江に臨み北山を負ふ頗る要害の地で文祿・慶長の役には加藤・小西・毛利・宇田の諸將が戦を交へた處である。虎

頗るよく、一般邑民敢策の地となり驛より乗合自動車の便もある。城の南端にある龜石樓は朝鮮の絶勝地として古來遊ぶ者が多い。

**智異山** 朝鮮では金剛山と共に推賞すべき名山で金剛山の奇峰亂立する山岳美に引きかへ智異山は鬱密たる老樹を以て掩はれた全くの大森林で多種多様な植物が繁茂し植物學上貴重な存在をなし各大學の演習林もあつて全くの深山幽谷をなしてゐる。廣表實に五郡に亙り古來歴史的にも幾多の傳説を残し山中幽勝閑靜の地には法燈幾百年を守る優雅な古刹も點在してゐる。近年山中の老姑壇に外人の避暑するもの多く別荘が築き建てられてゐる。山中の名勝地としては金剛山の巔盧峰より約三百米高き天王峯と般若峯の雄大なる眺望、外人避暑地の老姑壇、巨利の華嚴寺、大源寺、雙蓮寺等であつて眞に朝鮮八景に入選して以來頗る有名となつた。

**南原方面から** 南原驛・山内間 三六杆(二時間) 定期乗合自動車 毎日一往復 一人片道 一圓四十錢 貨切 (七人乗) 九圓  
 晉州方面から 晉州驛・石南里間 約一八杆(一時間) 定期乗合自動車 毎日一往復 一人片道 二圓五錢  
 谷城方面から 谷城驛・求禮間 約二八杆(一時間) 定期乗合自動車 毎日三往復 一人片道 一圓六十錢  
 尙求禮・華嚴寺間(二杆)は貨切のみに限り所要時間約三〇分賃金九人乗一圓八十錢

**開羅水道** 釜山を西に距る七九杆、朝鮮第一の漁港として又螺鏝漆器の名産地として有名な統營邑、此處より光羅線終點羅水港に至る一〇〇杆の航路こそは朝鮮の瀬戸内海と讃へらるゝ開羅水道であり朝鮮八景の一に推された鮮内唯一の海洋觀光路である。

閑山・蛇梁・南海・其他大小幾千の島々に圍まれた内海の島嶼、かくれ行く風帆片帆の静けさ、或は高く或は低く群れ飛ぶ鷗の哀調にその昔荒武者共の鏢擲投げ込める船泊りを想像しつゝ迂り行く海路ののびやかさ、晴々碧に輝く眞夏の候もなれば統營・三千浦・麗水を足留りして島巡りや魚釣に涼を追ひ得る事は大なる魅力である。

附近一帯は朝鮮水産總額の三分の一を占むる朝鮮第一の漁場であり、和船七千、鮮船三千、洋船二百を有しこれ等の漁船がたひ・さば・いはし・たら・ぶり・さわら・太刀魚等々五十餘種の魚群を追ふ様勇壯、總數々千と稱せらるゝ海女の活躍、更に南海島を本據とする女軍のさんざめき、南の海は勇ましくもまた美しい。

**交通** ▲釜山から海路 釜山・統營間 七九杆(三時間半) 三等 一圓五十錢 二等 二圓二十五錢  
 釜山・三千浦間 一二九杆(六時間) 三等 二圓 二等 三圓  
 釜山・麗水間 一七九杆(八時間) 三時 二圓七十錢 二等 四圓五錢  
 朝鮮汽船發行便大平丸・大安丸(約二百噸)の他に一日數回の往復がある。

▲晉州・統營間 約六四杆(三時間半) 定期乗合自動車 毎日三回往復 賃金乗合 一人片道 二圓六十錢



釜山

釜山と船車連絡

朝鮮東端の主要貿易港である釜山は煙波三十哩を隔て、豊岐對馬と相對し、朝鮮海峡を越えて百二十哩の彼方下關との間には朝夕二回の關釜連絡船が定期運航し、鮮滿鐵道と連絡して歐亞大陸に通ずる大支關たる樞要の地位を占め、尙北九州商船會社の博多行定期便も毎日一往復運航し、内地との交通は一層至便となつてゐる。

關釜連絡船の横付になる棧橋は僅か數十歩の距離で列車と接続し、旅客待合所・出札所・手荷物取扱所・貨幣交換所・電信取扱所・食堂・ビュロー案内所等の連絡設備は遺憾なく整つてゐる。棧橋から土産品店の並んだ上屋を通り抜ける釜山本郷鐵道會館(ホテル)で二階は鐵道事務所となつてゐる。釜山に上陸して第一に印象づけられるのは市街が純然たる内地風であることであつて、全く朝鮮の情趣を味へぬ程内地化してゐる。釜山府は草葉・釜山鎮の市街を包含し灣の北東より西南にかけて展開してゐる。府の背後には太白山脈の餘勢である天馬・裴嶺・九德・高遠見の諸峰が屏風の如く圍繞して朝風を妨ぐ爲に氣候は溫和で東京地方と殆んど變らない。現在全人口十六萬三千餘、内内地人五萬一千餘人、井然たる街衢には官衙・公署・會社等軒を並べ益々股販を極めて居る。

釜山の貿易

釜山港に於ける通商貿易は遠く四百七十餘年前對馬島守宗氏修交の誼を結び日韓通商を約したに始つてゐる。當時は別段見るべきものなく單に對馬との交易に過ぎなかつたが、明治九年貿易港として開港以來は海陸諸般の施設漸進的に整備の域に進み、今や貿易額も二億四千萬圓を突破する盛況である。輸移出品の主なる物は米・鮮曬干魚・大豆・海苔・陶器等、輸入品としては蕉葉・鹽・小麦粉・生果・綿織絲・肥料・機械類・木材等で、産業の發展に伴ひ益々繁盛を呈すべき状態にある。尙市内には鹽造業を始めとし精米・製鹽・繅絲・蒲鋒・水産肥料・造船等の工場が市内に相當發達し、近代的大規模の紡績、硬質陶器製造會社の如きは朝鮮に於ても有数の大工場となつてゐる。

戸口	朝鮮人	内地人	外人	計
戸	二四、五〇五	一一、六九九	六三	三七、二六七
人口	朝鮮人	内地人	外人	計
官公署其他	慶尙南道廳・釜山府廳・釜山稅關・無線電信局・釜山地方法院・水産試驗所・釜山憲兵分隊・支那領事館・物産陳列場・釜山商工會議所・公會堂・高等女學校・中學校・朝鮮銀行支店・朝鮮殖産銀行支店・朝鮮貯蓄銀行支店・釜山商業銀行・慶南銀行・釜山日報社・朝鮮時報社・釜山水産株式會社・朝鮮紡績會社・日本硬質陶器會社・大阪商船會社支店・朝鮮汽船會社・朝鮮郵船會社支店・東洋拓殖會社支店・移出牛檢疫所・癩患者療養所・牛疫血清所	大阪商船會社支店・大阪商船會社支店・朝鮮汽船會社・朝鮮郵船會社支店・東洋拓殖會社支店・釜山元山線・雄基團門線・釜山博多線・朝鮮長崎大連線・釜山濟州島線・釜山麗水本浦線・釜山統營線・釜山方魚津線・釜山浦項線	市内 貸切料金 一時間以内 三圓 半日(五時間以内) 十五圓 一日(十時間以内) 三十圓	府内は釜山驛前を境とし二區に分たれて居る、釜山驛前から東萊温泉迄は五區である。

終